

令和 8 年度 神奈川県立横浜国際高等学校 第 1 回学校運営協議会 議事録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

名称	神奈川県立横浜国際高等学校 学校運営協議会
開催日時	令和 8 年 6 月 20 日（土）
開催場所	A S 教室
出席者 (役職名)	水上 雅人 (Leadership for Everyone 代表) 宮嶋 泰子 (一般財団法人カルティベータ代表理事) 岡田 行央 (横浜国際高等学校 PTA 会長) 小川 博芳 (六ツ川上第二自治会会長) 小松崎 徹 (山王台西自治会会長) 羽入田 眞一 (横浜国際高等学校初代校長) 島 武彦 (横浜国際高等学校校長) (欠席) 海野 多枝 (東京外国語大学大学院総合国際日本学研究院教授) 西藤 聡一郎 (六ツ川高等学校同窓会会長)
会議内容	○委員からの主な質問・意見 ・令和 8 年度の目標設定で総合的な探究の時間に関する評価の観点があるが、令和 7 年度はどうか。 ・授業料無償化の影響はどうか。 ・働き方改革に数値目標が設定されたのは良い。長時間労働の改善に努めてほしい。教職員が働きやすい職場にしてほしい。 ・入学者選抜の倍率の高低を気にするのではなく、この学校で学びたいという中学生を大切にすることが重要である。 ・この学校の学びは大学でも活かせるものであると感じる。そのことをよりアピールすると良い。 ・生成 A I を活用して業務の効率化を図ると良い。 ・学校説明会は生徒主体で実施されており良い。 ・学校の学びを通じてどの程度語学力が伸長するのか。 ・子どもの数が減少し、国が私学の授業料も補助する中で、公立高校の運営は厳しくなるが、授業での学びと外部との交流の両面を充実させ、学校の魅力を伝えることが大切である。
会議資料	・第 1 回学校運営協議会次第 ・校長より ・年間行事予定 ・学校運営協議会活動状況報告書 ・学校案内パンフレット ・学校運営協議会運営計画書 ・進路実現のためのマイルストーン ・令和 7 年度学校評価報告書 ・学習支援グループより
問合せ先	横浜国際高等学校 副校長 山田 045-721-1434